

会津地区フォローアップ研修会



- 目的：家庭教育に関わる地域の課題や子どもたちを受け止める家庭環境づくりについて研鑽を深め、地域で子育てをする親を支援する家庭教育支援者の実践力を高めるとともに、地域の家庭教育支援者の後継者育成を目指す。
- 日時：平成30年12月5日（水）10:00～15:30
- 場所：道の駅あいづ 湯川・会津坂下
- 参加者：79名

講話Ⅰ「SNS等に起因する犯罪から子ども達を守るために」

福島県会津若松警察署生活安全課専門少年警察補導員

大竹 民江 様



参加者全員が「よかった,参考になった」と回答しており、満足感が大きかった。

会津の特徴として、親が子どもの方を向いていないと、何度も犯罪を重ねてしまうという話を聞いた。また、実際のスマホ画面から、子どもがアダルトサイトなどにアクセスできる可能性があることを知り、フィルタリングの必要性や親の責任の重さを再認識した参加者が多かった。SNS上の犯罪被害に遭った子どもは、過去最多を更新していることや、サイバー補導により、会津の子も仙台や郡山で補導されている事実を認識したことで、親や子どもに向けた研修をすべきという意識が、より高まった。

【参加者の声】

- SNSの危険性は、これまでも感じていたものの、今日のお話を聞いて、改めて現状を知ることができてよかったです。
- 事例を交えながら、とても分かり易く、身近なものとして聞けました。犯罪が低年齢にまで及んでいるのは、深刻な問題だと改めて思いました。子どもを守るのは大人〔親〕だと実感しました。

講話Ⅱ「家庭教育支援チーム“もも”はじめのいっぽ」

喜多方市家庭教育支援チーム“もも”

代表 幸田 久美子 様



家庭教育を支援したいという方々に向け、自らの体験をもとにした講話をして頂き、参加者の96%が「よかった,参考になった」と回答した。家庭教育支援チームをどのように立ち上げたか、これまで、どのような思いを持ち活動してきたのかを聞き、関心が高まったため、講話の最後の質問も活発に出された。

今回の研修を機に「自分にもできるかもしれない」という参加者が出てきたことは非常によかった。

行政の適切なサポートが必要との要望も多く出された。

【参加者の声】

- “フツーのおばさん”的感觉がとてもよかった。それを継続していることがすばらしいです。関わった保護者がまた“フツーのおばさん”となって、活躍してくれるといいと思います。
- 県の事業で育まれたものが、こうして地域の活動につながることはとてもすばらしいことだと思っています。“もも”も、困難を乗り越えながら、自分達にできる活動を続けていることがすばらしいです。

講演・ワークショップ

「子の心を育む親子の絆づくり～心豊かに生きる四つの条件」

親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子 様



アンケートの結果、96%が「よかった,参考になった」と回答しており、参加者の満足感が大きかった。

心豊かに生きる四つの条件「心の居場所がある」「自尊心がある」「人生の目標がある」「他者から必要とされている」を整えるための、他者との関わり方について、寸劇やロールプレイをまじえながら講演していただいた。

参加者は、ロールプレイで「言葉と心のキャッチボール」を体験し、能動的な働きかけ（くり返す・言い換える・気持ちをくむ）等について理解を深めることができた。「能動的な聞き方」や「わたしメッセージ」について、取り入れていきたいという感想が多く聞かれた。



【参加者の声】

- コミュニケーションが重要だということがわかりました。白いボールと赤いボールを意識することができ、貴重な経験になりました。実際すぐに行えることで、意識してコミュニケーションをとってみようと思いました。
- 生徒への対応にも役立つ内容が多く、参考になりました。家庭だけでなく、学校でも安らぐ居場所作りに努めていきたいと思います。
- ドキッと話す話でした。自分の子どもは大きくなってしまいましたが、今関わっている子ども達の声に、耳を傾けていきたいと思います。



まだまだあります。皆さんの御意見・ご感想

子どもを甘やかさず、ちゃんとルールを作ることが大事。今、スマホ・タブレット・ゲーム機を買い与えている親で、そこまできちんと考えている人がどれほどいるのか。中学校の入学説明会よりももっと前から警鐘をならすべき。

青少年のSNS等の犯罪被害が、これ程多く発生している実態を知り、驚くと共に、怖くなりました。家庭教育の大切さを痛感しました。様々な機会を利用して、保護者に伝えていくことが必要であり、子を守る親の責任だと思いました。

どんな支援が出来るのか、ということは私自身も日頃より考えていることでした。“無理をしない”のが継続の秘訣。というのが、強く心に残りました。

喜多方支援チーム“もも”立ちあげからのお話、とても参考になりました。代表幸田さんの情熱は素晴らしい!!と感心いたしました。地域の力で子育てを！
…家庭・学校・地域の連携の大切さを痛感しました。

子どもとの関わり方、コミュニケーションにおいて、今までのことを反省しました。ロールプレイを行ってみて、よく理解することが出来ました。これからの人間関係において、とても勉強になり、変わるきっかけとなり意識改革につながりました。

最近あまり周りの方と関わらないという方が多いように思いますが、このように地域の力が大切だとあらためて考えさせられました。